

平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年12月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 UCS

コード番号 8787 URL <https://www.ucscard.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 後藤 秀樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長

(氏名) 外山 綱正

TEL 0587-24-9028

四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	13,713	7.0	2,523	1.2	2,524	1.2	1,452	△4.5
26年2月期第3四半期	12,817	2.4	2,492	34.2	2,495	34.0	1,520	38.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	77.22	—
26年2月期第3四半期	80.83	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年2月期第3四半期	145,447		22,073		15.2	1,173.67
26年2月期	127,088		20,996		16.5	1,116.41

(参考)自己資本 27年2月期第3四半期 22,073百万円 26年2月期 20,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年2月期	—	0.00	—		
27年2月期(予想)				20.00	20.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,750	8.4	3,500	5.2	3,500	5.1	2,150	5.7	114.32

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期3Q	18,807,700 株	26年2月期	18,807,700 株
27年2月期3Q	95 株	26年2月期	95 株
27年2月期3Q	18,807,605 株	26年2月期3Q	18,807,611 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成26年3月1日～平成26年11月30日)におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融緩和策を背景に円安・株高傾向が進行し、企業収益や雇用情勢は改善するなど、全体として景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、個人消費については、消費税率引き上げに伴う影響と、物価上昇の懸念により、依然として先行き不透明な状況にあります。

当業界におきましては、ショッピングの取扱高は、消費税率引き上げ後も堅調な状況が続いております。一方で、金融商品の取扱高は改善の兆しが見え、残高の減少幅も徐々に縮小しつつありますが、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況において、当第3四半期累計期間の業績は次のとおりであります。

#### ①カード事業

##### (ア) 包括信用購入あっせん

取扱高は、アピタ・ピアゴにおけるクレジットセール開催やグループ営業企画等の実施により、堅調に推移いたしました。また、請求単価の増加やカード稼働率の向上により、営業収益も増加いたしました。

この結果、取扱高は447,597百万円(前年同期比8.0%増)、営業収益は9,177百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

##### (イ) 融資

貸金業法改正の影響により、取扱高、残高ともに厳しい状況が続いております。取扱高は、10,663百万円(前年同期比2.6%減)、営業貸付金残高は、前事業年度末に比べ、4.6%減、620百万円減少し、12,909百万円となりました。

この結果、営業収益は1,745百万円(前年同期比12.0%減)となりました。

##### (ウ) 電子マネー

平成25年11月より開始した電子マネー「ユニコ」は、平成26年7月に全国のサークルKサンクス、同年8月にアピタ・ピアゴ内の一部専門店とアピタのインターネットショッピングサイト、同年9月には首都圏のスーパーマーケットのベンガベンガにおいて、取扱いを拡大いたしました。また、会員数は93万人(前事業年度末比54万人増)となりました。

この結果、電子マネーの取扱高は69,349百万円と堅調に推移し、カード発行手数料等を合わせた電子マネーの営業収益は793百万円となりました。

##### (エ) 保険代理業

クレジットカード会員向け通販保険では、保険料率改定の影響もあり苦戦しておりますが、テレマーケティングと対面販売の組み合わせによる営業強化により、営業収益は398百万円(前年同期比0.6%増)となりました。

その他の営業収益をあわせ、カード事業の営業収益は合計で12,747百万円(前年同期比7.6%増)となりました。

営業費用につきましては、包括信用購入あっせんおよび電子マネーの取扱高の増加に伴うポイント費用の増加や貸倒関連費用の増加により、10,436百万円(前年同期比9.2%増)となりました。

以上の結果、カード事業の営業利益は2,311百万円(前年同期比0.8%増)となりました。

#### ②保険リース事業

##### (ア) 保険代理業

損害保険が堅調に推移し、営業収益は864百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

その他車両リース等の収益を合わせ、保険リース事業の営業収益は合計で965百万円(前年同期比0.0%減)となり、営業利益は212百万円(前年同期比6.5%増)となりました。

以上の結果、当社の取扱高は527,610百万円(前年同期比23.4%増)、営業収益は13,713百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益は2,523百万円(前年同期比1.2%増)、経常利益は2,524百万円(前年同期比1.2%増)、四半期純利益は1,452百万円(前年同期比4.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産の部におきましては、主に包括信用購入あっせん取扱高の増加による割賦売掛金の増加および電子マネーの拡大により預け金が増加いたしました。また、債権流動化による資金調達の縮小により、未収入金が減少し、割賦売掛金が増加いたしました。この結果、資産合計は145,447百万円となり、前事業年度末に比べ、14.4%増、18,358百万円増加しております。

負債の部におきましては、主に包括信用購入あっせんおよび電子マネー取扱高の増加により買掛金が増加するとともに、ポイント引当金が増加し、負債合計は123,373百万円となり、前事業年度末に比べ、16.3%増、17,281百万円増加しております。

純資産の部におきましては、四半期純利益により1,452百万円増加し、純資産合計は22,073百万円となり、前事業年度末に比べ、5.1%増、1,076百万円増加しております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の業績予想は、概ね計画通りに推移しており、平成26年4月7日に発表いたしました見通しから変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,585,962	1,151,649
割賦売掛金	84,766,844	105,757,252
営業貸付金	13,949,986	13,279,906
未収収益	1,202,784	1,517,939
未収入金	12,922,225	1,672,956
預け金	6,295,846	14,124,622
その他	2,709,708	3,714,487
貸倒引当金	△1,470,000	△1,003,000
流動資産合計	121,963,357	140,215,813
固定資産		
有形固定資産	1,756,877	1,828,220
無形固定資産	2,253,225	2,277,684
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,172,168	1,196,439
貸倒引当金	△56,813	△71,109
投資その他の資産合計	1,115,354	1,125,329
固定資産合計	5,125,457	5,231,235
資産合計	127,088,814	145,447,048
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	41,924,384	59,628,481
短期借入金	42,337,825	44,081,664
1年内返済予定の長期借入金	6,000,000	1,650,000
役員賞与引当金	22,437	14,517
賞与引当金	156,000	130,000
ポイント引当金	1,457,000	3,203,000
その他	4,535,283	5,122,431
流動負債合計	96,432,929	113,830,094
固定負債		
長期借入金	7,750,000	7,600,000
利息返還損失引当金	1,832,000	1,882,000
その他	76,908	61,018
固定負債合計	9,658,908	9,543,018
負債合計	106,091,838	123,373,112

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,610,890	1,610,890
資本剰余金	2,001,890	2,001,890
利益剰余金	17,380,748	18,456,842
自己株式	△45	△45
株主資本合計	20,993,483	22,069,577
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,492	4,358
評価・換算差額等合計	3,492	4,358
純資産合計	20,996,976	22,073,936
負債純資産合計	127,088,814	145,447,048

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
営業収益		
包括信用購入あっせん収益	8,728,200	9,177,341
融資収益	1,993,113	1,753,956
保険代理業収益	1,246,904	1,262,900
その他の収益	849,321	1,519,100
金融収益	2	2
営業収益合計	12,817,541	13,713,302
営業費用		
販売費及び一般管理費	9,986,741	11,006,493
金融費用	338,045	183,561
営業費用合計	10,324,787	11,190,055
営業利益	2,492,754	2,523,246
営業外収益		
受取配当金	485	567
雑収入	2,409	4,288
営業外収益合計	2,895	4,855
営業外費用		
雑損失	6	3,220
営業外費用合計	6	3,220
経常利益	2,495,644	2,524,882
特別損失		
固定資産除却損	11,437	14,969
固定資産売却損	-	2,378
特別損失合計	11,437	17,347
税引前四半期純利益	2,484,206	2,507,534
法人税、住民税及び事業税	1,547,304	1,758,010
法人税等調整額	△583,256	△702,722
法人税等合計	964,048	1,055,288
四半期純利益	1,520,158	1,452,245

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益および利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	カード事業	保険リース事業	
営業収益	11,851,654	965,887	12,817,541
セグメント利益	2,293,743	199,010	2,492,754

(注)セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益および利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	カード事業	保険リース事業	
営業収益	12,747,760	965,541	13,713,302
セグメント利益	2,311,215	212,031	2,523,246

(注)セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。